

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社

住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F

電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682

作成 1997年 4月30日

改訂 2001年 6月11日

整理番号 : 126.9

製品名 POLYPLASDONE XL

物質の特定 単一製品・混合物の区別

: 単一製品

化学名 : ポリ (N-ビニルピロリドン)

含有量 : 100 %

化学式 : $(C_6H_9NO)_x$

官報公示整理番号 : 化審法・安衛法 :

: (6) - 1007

CASNo. : 9003-39-8

国連分類及び国連番号 : 非該当

P R T R 法 : 非該当

安衛法通知対象物質 : 非該当

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない

危険性 : 可燃性の粉体

有害性 :

環境影響 :

応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で十分洗い流す。
コンタクトレンズはすぐ取り外す。
異常が残るようであれば医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合 : 水及び石鹼で洗い流す。

吸入した場合 :

飲み込んだ場合 : 出来るだけ吐き出し、水でよく口の中を洗浄し、異常を感じるようであれば医師の手当を受ける。

火災時の措置

消火方法 :

- (1) 一般火災と同様の消火方法をとる。
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。
- (2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 噴霧水、泡(耐アルコール)、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) 粉塵が飛散しないように、掃き集めて回収する。
- (2) 水で洗い流す場合は、環境汚染の原因となる可能性があるため、排水系などへの流出しないようにする。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： (1) できるだけ粉塵の発生を抑え、吸入しないようにする。
(2) 作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。
(3) 粉塵爆発の可能性があるので設備は静電気を除去するため接地する。
(4) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管： (1) 直射日光、水濡れを避け、貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

暴露防止措置

管理濃度： なし

許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (1997年版)

時間荷重平均： 未設定

粉塵の場合(第3種粉塵)	吸入性粉塵	2 mg/m ³
	総粉塵	8 mg/m ³

ACGIH(96-97)勧告値

時間加重平均(TWA)： 未設定

粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA	総粉塵	10 mg/m ³
---------------------	-----	----------------------

設備対策： 粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具： 保護マスク等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観 : 白色～黄白色のさらさらした粉末
比重 : データなし
沸点 : データなし
融点 : データなし
蒸気圧 : 揮発性なし
蒸気比重 :
溶解度 : 水に不溶

危険性情報(安定性、反応性)

引火点 : なし
発火点 : データなし
爆発範囲 : 上限 - 下限 -

反応性 : 一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。
強酸化剤及び還元剤との接触を避ける。

自己反応性 : 特になし

有害性情報

刺激性 : 皮膚 ヒト 一次刺激性なし(傷つけた皮膚での繰り返しパッチテスト)
眼 ウサギ 刺激性なし
感作性 : ヒト 感作性なし
急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ > 100,000 mg/kg
吸入 ヒト、モルモット、ウサギ エアロゾル及び粉塵の暴露で有害影響を起こした事例はない。
経皮 吸収性無し
亜急性、慢性毒性、発がん性及び催奇形性 :
経口 げっ歯類、イヌ
結果 : 総食事量の 10 % を超える量で悪影響及び発がん

性を

示す証拠なし又胎児毒性、催奇形性は認められな

かつ

た。

変異原性 : エームズ試験、マウスの優性致死試験、骨髄細胞を用いた染色体異常試験、L5178Y マウス(TK+/-)Lymphoma 試験、BALB/C 3T3 形質転換試験

結果 : いずれの試験においても変異原性は認められない。

代謝・排泄 : データなし

環境影響情報

生態影響 : データなし

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付することが望ましい。
- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類(3,000 kg)

その他

参考文献

1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET

参考資料 1

化審法と同じ様な主な国の法律の登録状況

TSCA(アメリカ) DSL(カタ'国内) NDSL(カナダ国外) EINECS(E U) ECL(韓国)

Copyright - 1995 American Chemical Society.

CAS REGISTRY NUMBER: 9003-39-8

ECL Serial No. 4-159

INVENTORY NAME(S):

2-Pyrrolidinone, 1-ethenyl-, homopolymer (TSCA, DSL)

N-Vinyl-2-pyrrolidone homopolymerisee (French) (DSL)

1-Ethenyl-2-pyrrolidinone homopolymer (ECL)

OTHER NAME(S):

1-Ethenyl-2-pyrrolidone polymer

1-Vinyl-2-pyrrolidinone polymer

1-Vinyl-2-pyrrolidone polymer

2-Pyrrolidinone, 1-ethenyl-, homopolymer

2-Pyrrolidinone, 1-vinyl-, polymers

N-Vinyl-2-pyrrolidone homopolymer

N-Vinyl-2-pyrrolidone polymer

N-Vinylbutyrolactam polymer

N-Vinylpyrrolidinone polymer

N-Vinylpyrrolidone homopolymer

N-Vinylpyrrolidone polymer

Poly(1-vinyl-2-pyrrolidinone)

Poly(1-vinyl-2-pyrrolidone)

Poly(1-vinylpyrrolidinone)

Poly(N-vinyl-g-butyrolactam)

Poly(N-vinyl-2-pyrrolidinone)

Poly(N-vinyl-2-pyrrolidone)

Poly(N-vinylbutyrolactam)

Poly(N-vinylpyrrolidinone)

Poly(N-vinylpyrrolidone)

Poly(vinylpyrrolidinone)

Poly(vinylpyrrolidone)

Polyclar AT

Polyclar H

Polyclar L

Polyplasdone

Polyplasdone XL

Polyplasdone XL 10

Polyvidon

Polyvidone

Polyvinylpyrrolidon XL

PVPP

EPA FLAGS:

XU Exempt from Update Rule

FORMULA ; (C6H9NO)_x

COMPONENT A ; 88-12-0 : C6H9NO